

学校教育目標

豊かな心、たくましく生きる力

めざす学校像

- 子どもたちが大好きな学校
- 保護者が安心して子どもを通わせることのできる学校
- 教職員がやりがいを感じ、チームで協力できる学校
- 地域の特別支援教育を推進できる学校

めざす教職員像

- 学ぶ姿勢を持ち続け自分で考え前向きに職務に取り組む教職員
- 説明責任と結果責任を果たすことへの意識を持つ教職員
- 子どもに愛情を持って接し、保護者との連携を大切にし、子どもへの適切な指導支援を工夫改善していける教職員

めざす児童生徒像

- 明るく（明朗・意欲的）
- やさしく（誠実・協力）
- たくましく  
（自己実現・自主自立）

◎ 本年度の重点目標

「チーム伊丹特別」として一丸となり教育目標実現のため互いに高め合おう

- ① 本校の児童生徒の実態に応じた適切な教育課程の編成を行い、教員の指導力を向上し児童生徒一人ひとりの力を伸ばす(教務部、研究部、自立活動部の連携協力の推進)
  - ・ 個別の教育支援計画、指導計画を作成し適切な目標設定、評価を行いPDCAサイクルを機能充実させる。
  - ・ 実態把握に基づき、発達について研修を深め、「生き方を豊かにする力を育む授業」について教科等の系統性に着目し授業づくり、授業改善に取り組む。
  - ・ 自立活動に関する教員の指導力を向上させると共に教材や指導法の工夫をし、日常生活や各授業での指導とのつながりを意識し子どもの力を育てる指導支援が行えるよう指導方法を工夫する。
- ② 卒業後の進路や生活を見据え、肢体不自由特別支援学校としての取組の充実と地域への発信の強化
  - ・ キャリア教育の視点を持ち卒業後を見据えた教育活動の充実と関係機関との連携を大事にし、保護者への積極的な情報発信や丁寧な相談を行う。
  - ・ 交流及び共同学習を推進し、児童生徒の豊かな人間関係を形成するとともに、特別支援教育への理解と啓発のため積極的に情報発信を行う。
- ③ 安全で安心な学校づくり
  - ・ 防災教育、防災計画の見直し等安全な学校づくりを進めBCPを作成し災害に対応できる体制を整える。
  - ・ 児童生徒の健康や身体状況を的確に把握し、看護師をはじめ教職員が連携し、児童生徒への医療的ケアを安全に行えるようにする。
  - ・ ICTの活用など保護者や地域へ情報発信を工夫改善し、開かれた学校作りを目指す。
- ④ センターの機能の充実
  - ・ 市内幼小中学校との情報交流や、本校で開催する実践講座・自主研修会・研究会等への参加を呼びかけ、市内学校園の特別支援教育の充実や教職員の指導力向上に努める。
  - ・ すべての教職員がそれぞれの立場で「センター的役割」を意識し、実践する。
- ⑤ 意欲とゆとりと愛情が感じられる職場づくり
  - ・ 週に1度の定時退勤日を意識し、ライフワークバランスをはかる。
  - ・ OJTを活性化し、日常的に教職員間で情報共有や助言を行える関係性を築くよう努める。